

はなみずき

「はなみずき」の花言葉には「私の想いを受けとめてください」という意味があります。
また、小林市にあふれる「花・水・木」など、いろいろな思いが込められています。

小林高等学校
とりい ゆうすけ
鳥井 勇助 さん

小林高等学校
うえだ さあや
上田 彩絢 さん

小林西高等学校
おおこば さや
大木場 咲彩 さん

小林西高等学校
なかほら ありす
中原 亜莉寿 さん

小林秀峰高等学校
うえだ あいみ
上田 愛海 さん

小林秀峰高等学校
やえお さおみ
八重尾 彩織美 さん

はしみつ さとみ
橋満 里美 さん

うちたけ ともこ
内竹 智子 さん

さかうえ たくとし
坂上 拓利 さん

いけうえ しょう
池上 翔 さん

新「はなみずき読者モニター」 10名が決まりました！！

これから2年間よろしくお願いします！

■ これ、知っちゃった？

第1回小林市議会高校生議会・・・P2～

- 委員会審査報告 / 1月臨時会の概要・・・P4～
- 表決結果一覧 / 討論・・・P6～
- 議会改革特別委員会最終報告・・・P7
- 一般質問・・・P8～
- 語り継ぐ小林の歴史・・・P15
- 鎌田 豊数 議員のイチオシ！！・・・裏表紙



令和7年5月1日発行



令和6年8月に開催した高校生との意見交換会を通して、高校生達の考えや意見を発展させて、市政や議会での議論に生かしたいという思いから、広報広聴委員会と協議し、今回の開催に至りました。議場で高校生17人が一般質問形式で市の課題について尋ねたり、改善を要望したりし、議員が答弁しました。

① 小林秀峰高等学校 月野 愛由 議員

【質問項目】
・バスや電車の時間を増やして欲しい
・イベントごとに積極的に高校生が参加して
・小中高生向けのボランティア活動のイベント

② 小林秀峰高等学校 永田 結愛 議員

【質問項目】
小林市立病院の問題について

③ 小林秀峰高等学校 黒木 琉希 議員

【質問項目】
ごみの分別の緩和

④ 小林秀峰高等学校 下村 陽紀 議員

【質問項目】
秋まつりのアンケートについて

⑤ 小林西高等学校 岡原 陽生 議員

【質問項目】
木々の伐採によって緑が減っていることについて

⑥ 小林高等学校 西 隆吉 議員

【質問項目】
若者の公共交通機関利用の援助について

⑦ 小林秀峰高等学校 中嶋 悠乃 議員

【質問項目】
若者を惹きつける施設の誘致と地域全体の活性化に向けた取組について

⑧ 小林西高等学校 假屋 結斗 議員

【質問項目】
小林市にイオンやラウンドワンなどの楽しめる場所を作してほしい

⑨ 小林秀峰高等学校 指宿 琉斗 議員

【質問項目】
J R通学生の定期券代の補助について

⑩ 小林高等学校 鶴田 美紘 議員

【質問項目】
空き家を勉強スペースに活用する

⑪ 小林西高等学校 中原 亜利寿 議員

【質問項目】
小林市発祥の何かのお店やスポットを建設することについて

⑫ 小林高等学校 松田 凛音 議員

【質問項目】
宮崎市や都城市などに休日行くとときにバスや電車の本数が少ないので増やしてほしい

⑬ 小林西高等学校 川畑 健瑛 議員

【質問項目】
スポーツ合宿受け入れなどの助成金の制度を作ってもらいたい

⑭ 小林高等学校 温水 華凛 議員

【質問項目】
産婦人科の病院の設置について

⑮ 小林高等学校 吉藤 勇帆 議員

【質問項目】
小林市のふるさと納税について

⑯ 小林秀峰高等学校 長嶺 陽向 議員

【質問項目】
自転車の専用道をつくることについて

⑰ 小林秀峰高等学校 川西 咲希 議員

【質問項目】
街灯を増やしてほしい

第1回小林市議会 高校生議会

令和6年度 小林市高校生議会 議員章

地域の問題を自分たちの問題と捉え、高校生自ら解決策を検討し、議会の仕組みを学び体験してもらうことで、政治に対する興味・関心、参加意識の醸成を図るとともに高校生との交流による議員の新たな政策発見の場とすることを目的に開催しました。



小林西高等学校生と議員



小林秀峰高等学校生と議員



小林高等学校生と議員



▲高校生議会ダイジェスト動画



◀高校生議会録画配信

高校生議会会議録 (HP) ▼



◎各高校から1名ずつ議長を選出しました。



小林高等学校 松田 凛音 議長



小林秀峰高等学校 月野 愛由 議員

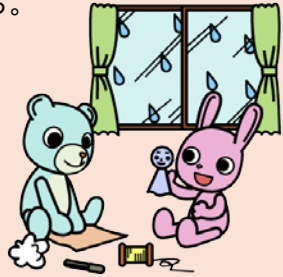


小林西高等学校 中原 亜利寿 議員

雨天時でも利用できる 遊び場スペース

(健幸のまちづくり拠点施設開設準備事業費
予算額 3,108 万円)

主に低年齢児を対象とした雨天時でも利用できる遊び場スペースを健幸のまちづくり拠点施設の子育て支援センターに隣接する交流スペースに整備する。



带状疱疹の予防接種を開始

(予防接種事業費 予算額 1 億 4,017 万円)

令和 7 年 4 月から定期接種として带状疱疹の予防接種を開始する。



Q 周知方法は。

A 広報紙やホームページ、メール配信サービス、市公式LINE などをはじめ、対象者には個別通知を行う。

◆委員からの意見◆

接種を希望される方が接種できるよう周知徹底に努められたい。

令和 7 年度 一般会計予算

334 億 8,000 万円

前年度比 24 億 3,000 万円、7.8%の増

令和 7 年 3 月定例会
委員会
審査報告

令和 7 年度一般会計当初予算は、課題解決と市の更なる発展に向けた取組の実施及び未来の小林市を創るため、未来のこばやし創生予算として、重点的・戦略的に推進する次の 5 つの施策を掲げ、3 年連続で過去最高額となる予算規模となりました。

- 1 健幸のまちづくりの推進
- 2 子育て支援・教育・福祉の推進
- 3 産業・経済の活性化
- 4 地域活性化と生活基盤の整備
- 5 持続可能な未来の創造

小林市の魅力や地場産品を P R

(シティプロモーション推進事業費
予算額 1 億 2,444 万円)

特産品、人、文化など、様々な地域資源の魅力を発信し、関係人口の創出を図る。

Q 事業内容は。

A P R 大使などの著名な出身者と連携しポスターやカード、動画制作等により本市の多様な魅力を P R するとともに、本市の特産品の認知や消費拡大に注力する。

豊かな学び支援室の設置

(主な事業：子どもの悩みレスキュー事業費
予算額 1,103 万円)

不登校児童・生徒及びその保護者の支援等を行う地域と学校の連携と協働の拠点、また教育課題解決に向けた教職員の学びの拠点として、T E N A M U ビル 2 階に設置する。

Q 校内教育支援センターの役割は。

A 学校には行けるが教室に入れない児童・生徒もいることから、小林中学校内に同センターを設置し、支援員が学習や生活等の支援を行う。



須木地区のコミュニティ機能維持と強化

(農村型地域運営組織(農村 RMO)
形成推進事業費 予算額 535 万円)

地域コミュニティの機能維持と強化に向けた地域運営組織(RMO)として、農業者を母体とした組織と自治会、社会福祉協議会などの多様な地域関係者の参画によって、協議会を設立する。

Q 組織体制は。

A 現時点での構想としては、農用地保全部会、地域資源部会、生活支援部会の 3 部門に分けた体制を検討している。若い人材の参加を各組織に呼びかけていく。



Q サポート体制は。

A 国の補助金は 3 年で終了となるため 4 年後には自立運営できる組織にする必要がある。伴走支援を行い、国・県の補助事業の活用などサポートしていく。

令和 7 年 1 月臨時会の概要

物価高騰に係る給付金や医療施設及び農家への支援に係る費用の補正、小野湖特設カヌー・ローイング競技場の整備計画変更に伴う、茅葺きの宿るかやの解体に係る費用等の議案が市長から提出され、全議員で現地踏査も実施し、審議を行いました。

また、継続審査となっていた令和 5 年度水道事業会計の決算の認定については、逮捕された職員からの申立てや内部調査の結果、当該年度分において 8 件の不正が確認され、不認定となりました。

令和 7 年第 1 回臨時会 表決結果一覧 (令和 7 年 1 月 15 日)

◆表決の分かれた議案◆

議案番号	議案名	堀研二郎	小川真	能勢誠	野田利典	松嶺勇一	橋本律子	永野雅己	金松勲	有木将吾	押領司剛	前田隆博	貴嶋憲太郎	竹内龍一郎	舞田重治	吉藤洋子	原勝信	鎌田豊数	大迫みどり	高野良文	表決結果
R6 補正予算 議案 1	一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	●	●	原案可決
条例関係 議案 3	すきむらんど設置及び管理に関する条例の一部改正 すきむらんど内の茅葺きの宿るかやについて、公の施設としての用途を廃止し、当該施設を解体するための改正	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	●	●	原案可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 除：法律により採決に加われない者 -：議長は表決には加わらないため

◆全会一致の議案◆

議案番号	議案名	表決結果
R5 決算 議案 66	水道事業会計決算の認定	不認定
R6 補正予算 議案 2	水道事業会計補正予算(第 3 号)	原案可決

◎議案の内容
はこちら▶



臨時会
提出議案

1 月臨時会の
録画配信ページ
はこちら▶



農業の担い手確保と支援

(農業経営の世代交代対策事業費
予算額 2,952 万円)

農業の担い手を確保し、農業後継者や新規就農者の早期経営安定を図るため、要件を満たす農家に対し、各種補助金を交付する。

◆委員からの意見◆

農業後継者の減少、担い手不足による高齢化等が深刻な状況。補助金の要件緩和について県に要望することも視野に入れ、利用促進を図ってほしい。

◆全会一致の議案◆（前ページからの続き）

議案番号	議案名	表決結果
議案 34	山村定住住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正 奈佐木団地の一部を入居者に譲渡したことに伴い、管理戸数を変更する改正	原案可決
議案 35	適応指導教室設置条例の廃止 適応指導教室を廃止することに伴うもの	原案可決
人事案件 議案 36・37	公平委員会の委員の選任【3月7日採決】 ・松元 渉（まつもと わたる）氏 ・山下 康代（やました やすよ）氏	同意
議案 38	教育委員会の委員の任命【3月7日採決】 ・廣崎 真美（ひろさき まみ）氏	同意
諮問 1	人権擁護委員の候補者の推薦【3月7日採決】 ・時任 幸信（ときとう ゆきのぶ）氏	同意
請願 R6 請願 4	精神障がい者の医療費助成を求める請願	採択
議員提出 議案 2	市議会委員会条例の一部改正	原案可決
議案 3	市議会会議規則の一部改正	原案可決
議案 4	市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	原案可決
議案 5	市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	原案可決
議案 6	情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部改正	原案可決

◆その他◆

議案番号	議案名	表決結果
報告案件 報告 1	専決処分した事件の報告 私有地において消防ホースが一般車両に接触して発生した物損事故について、損害賠償の額を定めたもの	報告に対する質疑をもって終了
報告 2	専決処分した事件の報告 市有車両が一般車両に接触して発生した人身及び物損事故について、損害賠償の額を定めたもの	
報告 3	専決処分した事件の報告 市道の管理上の瑕疵により発生した人身及び物損事故について、損害賠償の額を定めたもの	
報告 4	専決処分した事件の報告 市有車両が一般車両に接触して発生した物損事故について、損害賠償の額を定めたもの	

3月定例会の録画配信ページはこちら▶



◎議案の内容はこちら▶

開会日提出議案



令和6年請願第4号 精神障がい者の医療費助成を求める請願

【委員会での主な意見】

精神障がい、身体障がい、知的障がいのうち、精神障がいだけが重度障がい者（児）医療費助成制度の対象となっていないため同等に扱うべきである。

なお、今般、県の助成対象に精神障がいを加えることから、当局においては早急に制度拡充に努められたい。

【結果】

本会議で委員長報告があり、採決の結果、全会一致で採択の上、市長に送付すべきとなりました。

徹底討論

議案第10号 令和7年度一般会計予算

反対討論

大迫 みどり 議員

プレミアム付商品券は、購入し恩恵を受ける方や事業所に偏りが出る。物価高騰の長期化が市民生活に与える影響は計り知れない。財政調整基金は目標15億円に対し18億円ある。取り崩して、暮らしを支える施策を。

金松 勲 議員

令和7年度一般会計予算は334億8千万円で、新規事業費として須木地区農村型地域運営組織（農村RMO）、かかるかや解体を含む観光施設維持管理費（臨時）などが予算化されている。地域活性化に大きくつながる事業であり、早急なる予算執行に期待する。

賛成討論

小川 真 議員

過去最大規模だが、歳入は、財源を国庫・県支出金、市税収納率向上、ふるさと納税で確保、歳出は、健幸のまちづくり、国スポ・障スポ施設整備、子育て支援・教育・福祉の充実、産業・経済活性化事業で、市民への行政サービス充実が図られる予算と判断し賛成。

能勢 誠 議員

総合戦略の「切れ目ない支援」は課題が多く、特に少子化対策における妊娠支援の連携不足は憂慮される。縦割りを排した横断的な取組の強化と、各事業の効果測定に基づく継続的な改善の徹底を望み賛成。

令和7年第2回定例会 表決結果一覧（令和7年2月26日～3月24日）

◆表決の分かれた議案◆

議案番号	議案名	堀研二郎	小川真	能勢誠	野田利典	松嶺勇一	橋本律子	永野雅己	金松勲	有木将吾	押領司剛	前田隆博	貴嶋憲太郎	竹内龍一郎	舞田重治	吉藤洋子	原勝信	鎌田豊数	大迫みどり	高野良文	表決結果
R7 当初予算 議案 10	一般会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	●	○	原案可決
議案 11	国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	●	○	原案可決
議案 14	介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	●	○	原案可決
議案 15	後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	●	○	原案可決
条例関係 議案 21	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の設備及び運営の基準について制定するもの	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	●	○	原案可決
議案 22	地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の全部改正 包括的支援事業の基準を介護保険法施行規則に定める基準とする改正	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	●	○	原案可決
陳情 R6 陳情 1	小林市議会議員定数等の見直しを求める陳情	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	○	－	○	●	●	○	採択
議員提出 議案 1	市議会議員定数条例の一部改正	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	○	－	○	●	●	○	原案可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 除：法律により採決に加われない者 －：議長は表決には加わらないため

◆全会一致の議案◆

議案番号	議案名	表決結果
R6 補正予算 議案 4	一般会計補正予算（第11号）	原案可決
議案 5	国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）	原案可決
議案 6	介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案 7	後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第5号）	原案可決
議案 8	水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決
議案 9	病院事業会計補正予算（第4号）	原案可決
R7 当初予算 議案 12	物品購入特別会計予算	原案可決
議案 13	西諸地域介護認定審査事業特別会計予算	原案可決
議案 16	水道事業会計予算	原案可決
議案 17	下水道事業会計予算	原案可決
議案 18	農業集落排水事業会計予算	原案可決
議案 19	病院事業会計予算	原案可決
条例関係 議案 20	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 刑法等の一部改正等に伴う関係条例の改正	原案可決
議案 23	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 国の法律の条項ずれに対応する改正	原案可決

議案番号	議案名	表決結果
議案 24	情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部改正 国の法律の条項ずれに対応する改正	原案可決
議案 25	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正 介護休暇等に関する規定を整備する改正	原案可決
議案 26	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正 一般職の職員の給料表等の改定等及び管理職員特別勤務手当を支給できるようにする改正	原案可決
議案 27	市職員の退職手当に関する条例の一部改正 市職員に係る失業者の退職手当の支給について見直しを行う改正	原案可決
議案 28	市税条例の一部改正 寄附金税額控除の見直し及びマイナンバー法の条項ずれに対応する改正	原案可決
議案 29	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 連携施設について見直しを行う改正	原案可決
議案 30	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 連携施設について見直し等を行う改正	原案可決
議案 31	野尻湖多目的広場の設置及び管理に関する条例の一部改正 のじりこびあのプールの開業期間の延長及び野外ステージ前の広場等を駐車場として利用したときに徴収する利用料金の上限額を定める改正	原案可決
議案 32	市道路占用料条例の一部改正 県道の道路占用料の一部が改正されたことに伴い、これに準じて市道の道路占用料を改定する改正	原案可決
議案 33	市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正 八幡原団地及び城山団地の一部の用途廃止に伴い、管理戸数を変更する改正	原案可決

議員定数に結論 19人から16人へ

次回の市議会議員選挙（令和9年4月実施）から

令和6年
陳情第1号

令和6年5月に小林市区長会から提出された議員定数の削減と議員報酬の引上げを求めた「小林市議会議員定数等の見直しを求める陳情」の採決が、最終日の本会議で行われました。採決に当たり、賛成議員3名・反対議員3名から討論がありました。

討論内容の要旨

定数削減は議会の多様性を損ない市民の声が届きにくくなる。行政課題が山積する中、議員の役割が果たせるのか。1委員会に6人は必要。特別委員会で時間をかけ練り上げた議論に議員としての矜持をもち現状維持すべき。

反対議員

大迫議員
橋本議員
能勢議員

各議員の
討論概要は
こちら▼



賛成議員

小川議員
永野議員
舞田議員

討論内容の要旨

議員定数見直しは、市民アンケート結果や人口減少の現状を踏まえると妥当。多様な人材の参画を促し議会の質を高めるため、報酬見直しや透明性の向上が不可欠。市民に開かれた議会を実現するため、格段の改革が必要。

採決の結果、賛成12：反対6の賛成多数で採択

陳情の採択を受けて、議員定数を16人とする議員提出の条例改正案が提案されました。この採決に当たって、賛成議員4名・反対議員4名から討論がありました。

議員提出
議案第1号

討論内容の要旨

類似市との数字の比較だけでは現状との乖離を感じる。議員減により監視機能の低下を招き、行政の監視・審査が適正に行われるか危惧される。追認機関との批判もある中で3人も減らせれば、地域にもっと目が行き届かなくなる。

反対議員

能勢議員
竹内議員
前田議員
大迫議員

各議員の
討論概要は
こちら▼



賛成議員

小川議員
野田議員
原議員
有木議員

討論内容の要旨

市民アンケートを重く受け止め、人口減少に伴う議員定数3名削減に賛成。若者や女性のなり手を増やす取組が必要。議員は学習し政策提言を行い、市民サービス向上を目指す。身を切る改革で市民の信頼を得るべき。

採決の結果、賛成12：反対6の賛成多数で可決

議会改革特別委員会では陳情の審査のほか、これまで様々な課題について調査・検討してきました。また、議員報酬について公正な立場で議論していただくため、市長に対し「小林市特別職報酬等審議会」の開催と、当審議会において審議されるよう依頼しました。

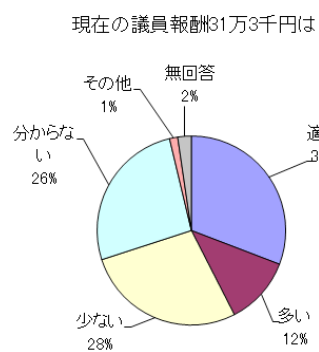
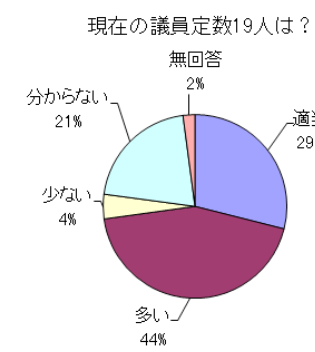
議会改革特別委員会の
最終報告書はこちら▶



市長に「小林市特別職報酬等審議会」の開催について依頼書を提出
(左から宮原市長・吉藤議長・竹内議会改革特別委員長・鎌田副議長)

陳情の審査に当たり、市民の意見を参考とするため、昨年の9～11月にかけて「議員定数・報酬に関するアンケート」を実施しました。857人もの多くの市民の方にご協力いただき、誠にありがとうございました。集計結果の一部を掲載します。

◎詳しくはこちらから▶



日曜祝日の医療体制は

在宅当番の診療

問 日曜祝日等の在宅当番の医療機関の診療体制について現状並びに診療患者数は。

答 西諸医師会に業務を委託し、1回当たり小林市・高原町で2カ所、えびの市1カ所の計3カ所所で当番を依頼。一医療機関の平均患者数は23人だが、連休期間や感染症流行時は非常に多い状況。業務委託料は、以前国が示した基準額を基に算定している。

問 医療機関には患者数に応じた金額を支払うのではない、条例等で金額も決まっている。100人受け入れた場合も同額で良いのか。17歳未満の救急搬送も58%は西諸医療圏で対応している。しっかりした基準が必要では。

保険薬局の在宅当番は

問 保険薬局への委託料の必要性はないのか。また補助制度は考えられないか。

答 現在、薬局への恒常的な補助金等の支援等はない。

意 医療機関だけでなく保険薬局への対応も小林市・えびの市・高原町で今後協議・検討していただきたい。

答 市は在宅当番の業務全般を西諸医師会と委託契約しており、医療機関にどのように支払うかは西諸医師会で決められる。

意 過度な負担とならない対応と見合う委託料が必要。

市民の声を市政へお届け



※一般質問者の二次元バーコードから、録画配信をYouTube（YouTube）でご覧いただくことができます。

問：質問
答：答弁
意：意見

議員が日ごろの議員活動を通して疑問に感じていることや改めたいこと、実現すべきことについて質問・提案し、市長・部長等が答弁します。3月定例会では12人の議員が質問しました。

安心安全な上下水道を

問 上下水道管の管理・点検状況は。

答 上水道管は、遠隔監視システムを活用し、各施設の排水量を常時記録することで管理。下水道管は通常10年ごと、腐食が懸念される環境にあるものは5年ごとに、点検・検査を実施している。

問 漏水調査の実施状況は。

答 漏水調査は、入札により専門業者に委託。令和6年度は、3地区を実施し、14件の漏水箇所を発見した。

問 災害等で水道施設からの給水が滞ったときの対応は。

答 現在約4000袋の給水袋を備蓄。市内には33の水源地があり、大規模災害時でも被災を回避した施設で、相当量の給水は可能と考える。

問 本市でも、有機フッ化物PFAS検出の報道があったが、現状認識と今後の水質検査は。

答 基準内とはいえ、PFAS検出は好ましい状況ではない。今後、研修や会議に積極的に参加し、他市の状況や取組を学ぶなど、情報収集に努めたい。なお、令和8年度から水質検査の基本項目にPFASも含まれる予定である。

PFAS（ペーファス）とは、人工的に作られた有機フッ素化合物の総称。自然界で分解されにくく、一部で人体への有害性が指摘されている。



立憲民主党
たけうち りゅういちろう
竹内 龍一郎 議員



官民協働の災害対応訓練

創生こばやし
はら かつのぶ
原 勝信 議員



いつまでも元気の体作り

東九州新幹線早期整備

問 東九州新幹線整備について県は3ルート案の調査結果を公表した。新八代ルートの特徴と課題について伺う。

答 特徴としては、人口密集地である福岡からの時間短縮効果が大きい。課題は、基本計画に相当する路線であることの検討が必要であり、県北部への時間短縮効果が限定的であると報告された。

問 県は早期整備と気運醸成を目指しているが、市の見解は。

答 新幹線整備による利便性向上や経済効果、財政負担や並行在来線への影響などに対する理解を深めるため、引き続き県の動向を注視する。



コ詳細は
チラシに
▲は

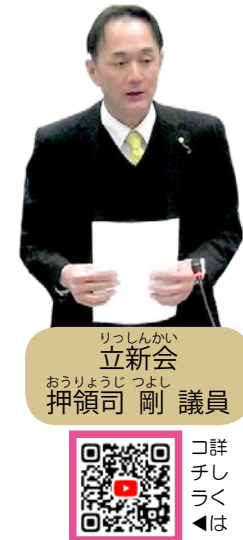
小林市立学校の在り方

問 少子化に伴い、学校の小規模化も進んでいく。さらに、老朽化した校舎の整備も必要。学校の適正規模や適正配置について、市長の考えは。

答 より良い教育環境の提供について必要性を感じている。小・中学校の在り方について、一定の方向性を定める時期が来ている。今後も教育委員会と連携しながら、しっかりと進めていきたい。

問 小林市立学校の在り方に関する提言書の主な内容は。

答 「小学校では学級替えできる程度の規模が望ましいが、中学校では一定の規模が必要」「様々な通学手段を勘案した検討が必要」「地域の伝統芸能や文化の継承を通じて地域で子ども達を育てていく環境を醸成することが重要」などの意見があった。



コ詳細は
チラシに
▲は



学校行事の在り方は

問 市内の運動会、体育大会などの観客の制限は。

答 制限はないが、令和6年度、保護者と一緒に弁当を食べる午後まで実施した学校は5校で、残りの16校は午前中のみの開催だった。

意 様々な問題もあるが、地域、先生、保護者で助け合う心、協力し合う心を教えていくのも、小・中学校の教育の一つ。

観光行政

問 県道1号線（小林えびの高原牧園線）の状況は。

答 ガス等が発生していないが、土日は通行可能だが、常時通行するのは現状では厳しい。



軟骨伝導イヤホン

加齢性難聴の人への対応

問 軟骨伝導イヤホンを市役所窓口を設置することで、加齢性難聴の人との会話で耳の聞こえにくさによる聞き間違いを防ぎ、小声で会話できるため、個人情報や相談内容を周囲に聞かれずに済む。本市でも導入する考えはないか。

答 現在の窓口対応は、ゆっくり、はっきりした口調で説明をしたり、または筆談ボードを活用することで対応している。軟骨伝導イヤホンの設置については、近隣自治体の活用状況等を勉強していきたい。

軟骨伝導イヤホンとは、耳付近の軟骨を振動させて音を伝えるイヤホン。通常のイヤホンと違い、耳に直接差し込まず、清潔に利用できる。

農畜産業支援の考えは

答 意欲ある担い手の育成や後継者の確保に努めるとともに、地域計画に基づいた生産基盤の整備や魅力ある産地づくりを進める。また、国や県の動向を注視し、関係機関と連携しながら、農畜産業が将来にわたり持続できるよう、必要な施策を展開し支援に取り組む。

問 昨年、和牛繁殖農家73戸が離農し、繁殖雌牛が951頭減少した。市として今後どのような支援策や対応を考えているのか。

答 繁殖牛の増頭から更新へと方針を転換し、農家の理解を得ながら基盤を構築している。今後も貸付金の有効活用や品評会出品牛の市内保留、市場関係者の誘致などを進め、農家支援を継続する。



コ詳細は
チラシに
▲は

予算編成と市民の生活

問 令和7年度予算は6年度予算の90%以内のマイナスシーリングとなっているが、市民生活は守れるか。

答 物価高騰が長期化する中で、人口減少対策、社会保障の維持充実、市有施設の老朽化対策など、取り組むべき課題は山積している。予算編成に当たってはシーリングは、あくまでも事業の見直しを行い予算要求時に改めて確認するものである。

問 国では地方創生交付金、農業予算を2倍にするという話があるが、予算編成にどのように反映されているのか。

答 重点的・戦略的に推進する施策として、健康のまちづくりの推進、子育て支援・教育・福祉の推進、産業・経済



コ詳細は
チラシに
▲は

物価高騰対策

の活性化、地域活性化と生活基盤の整備、持続可能な未来の創造の5つの柱を掲げて、未来のこばやし創生予算として編成。この5つの柱を基に、国の施策を注視しながら事業に取り組んでいきたい。

問 健康都市プロジェクトの具体的な取組内容は。

答 市民の歩くことの習慣化に重点を置いた健康都市推進事業や令和8年度から供用開始する健康のまちづくり拠点施設の整備などに取り組んでいく。また、囲碁やカラオケなど高齢者の生きがいづくり自主的に取り組む友愛クラブへの支援等も続けていきたい。



子どもたちに優しいまちづくりを



運動公園出入口交差点の現状

十三塚運動公園周辺の環境

問 県道53号線（京町小林線）側の出入口への信号機設置の考えは。

答 小林警察署による現地の交通量調査の結果、現段階では設置は困難とのことだったが、今後混雑する場合も予想されるため、引き続き関係団体と協議していく。

問 熊迫用水路の改修工事の考えは。

答 現場調査の結果、土水路の課題を確認した。大規模改修は未定だが、水利組合と協議しながら、材料支給での対応を考えている。

健幸のまちこばやしへ

問 健幸ポイント事業の充実を図るとともに、こばやし健康づくり推進企業認定制度や健康アンバサダー事業、健康の窓口等を推進し、市民の健康意識を高め、働く世代や健康に関心の低かった市民の行動変容のきっかけをサポートし、運動の習慣化、医療費の抑制、健康寿命の延伸につなげていきたい。

答 今後の展開は。

問 歩いた歩数や健康イベントへの参加でポイントがもらえる「こばやし健康ポイント事業」。市民の参加状況は。

答 令和6年度の参加者は1714人。令和2年度の事業開始からこれまで参加したアカウント数は3600を超える。

こばやし健康ポイント事業



財政調整基金の現状は

問 財政調整基金の財源の現状と令和7年度の目標や見通しは。

答 一般的に標準財政規模の10%程度の残高を確実に維持することが望ましい。本市の標準財政規模は145億円程度で、およそ15億円程度が維持したい額となる。令和元年度から10億円ほど積み増しができており、令和5年度末時点での現在高は18億2243万円である。財源は年度の決算見込みの状況にもよるが、余剰金が発生すると見込まれる場合に積み立てることになっており、年々厳しくなっている状況にある。

避難所の備蓄品

問 避難所における段ボールベッドや簡易トイレなどの備蓄の状況は。

答 段ボールベッドは127台で、簡易トイレは本体を241台、消臭剤を4700回分備蓄。いずれも今後増やしていく方向で検討している。南海トラフ地震の想定では、小林市には約1000人が避難されると県の計画でもなっており、それを基に適正な数の備蓄を進めていく。また、小林小、小林中、東方中体育館に毛布や屋内テントなどを備蓄している。



非常時のための訓練と備えを

団塊の世代の高齢化

問 2025年は、5人に1人が75歳以上の後期高齢者となる。小林市の人口約4万2千人、約2万世帯のうち、要介護・要支援認定の人数、世帯の数はどれくらいか。

答 令和7年2月25日現在、要介護・要支援認定者数は、2722人、世帯数は約2500世帯となっている。

その他の質問

■健康のまちづくり拠点施設について

■土地建物の相続について



こばやし健康ポイント事業の画面

徹底討論で方向性決定

意 統廃合ありきではなく、色んな選択肢を残して考えて欲しい。

問 児童・生徒の意見をどのような形でつかむのか。

答 学級活動やこすもす科の授業に参加して、日頃子どもたちが感じている学校生活への課題、望ましい教育環境、小林の未来などについて、直接聞き取っていききたい。

問 老朽化した校舎の改修は、財源の問題もあるかもしれないが、子どもたちの学びを第一に考えるべきと思うが。

答 地域・保護者・子どもたちの声を聴いて方向性を定め、それに基づいて校舎をどうするかという話で進めていきたい。

問 児童・生徒の意見をどのような形でつかむのか。

答 学級活動やこすもす科の授業に参加して、日頃子どもたちが感じている学校生活への課題、望ましい教育環境、小林の未来などについて、直接聞き取っていききたい。



小野湖で地域活性化を

問 須木地区の小野湖特設カヌー・ローイング競技場を活用した地域振興は。

答 令和9年に開催される第81回国民スポーツ大会のカヌー・ローイング競技を小野湖で開催するため、競技コースなどの施設整備を行う。開催後は整備された施設を有効に活用するため、カヌー・ローイングの合宿誘致をはじめ、SUP、釣り大会などのアクティビティを充実させ、須木地区の地域振興を図っていく。また、解体される「かるかや」の代替宿泊施設の整備に当たっては、将来にわたる地域活性化が期待できる観光・地域交流の拠点施設を兼ね備えた施設となるよう、須木地区住民をはじめとする検討委員会で協議していく。

SUP（サップ）とは、スタンドアップパドルボードの略で、ハワイ発祥のウォータースポーツのこと。



資源活用に向けた整備進捗状況

■農業戦略について

問 釣大会やアクティビティを運営する団体とのパイプはあるか。

答 具体的な構想は無いが、今後検討していく。

問 大会等を継続的に誘致するプロモーションの計画は。

答 プレ大会、本大会の時に全国から多くの競技団体、競技者が来る。そのときに、一番アピールできると考えているため、関係課等とも連携しながら集中してPRできたらと考えている。



学校統廃合は子どもたちを主役に

問 課題を検討し、利用しやすい公共交通を考えてほしいが、今困っている方たちに対し、タクシー券の要件緩和ができないか。

答 現在の利用率は100%ではない。現行の枠組みの中でより利用しやすい制度を検討したい。

問 課題を検討し、利用しやすい公共交通を考えてほしいが、今困っている方たちに対し、タクシー券の要件緩和ができないか。

答 現在の利用率は100%ではない。現行の枠組みの中でより利用しやすい制度を検討したい。

問 交通手段の確保は、早急に解決が求められているが。

答 持続可能な公共交通を目指し、公共交通と福祉との連携のため現状分析を行うなど、移動施策の在り方について研究している。

問 免許証返納で外出が困難に。

答 交通手段の確保は、早急に解決が求められているが。



(参考文献：のじり庁舎だより、野尻町史)
取材・編集：大迫 みどり／小川 真

語り継ぐ 小林の歴史 シリーズ④⑩

～交通安全地蔵 石瀬戸交通安全地蔵 (野尻地区)～



国道268号の石瀬戸バス停の駐車場の左奥

国道268号線を宮崎市から小林市方面に向かって走ると、野尻町紙屋の「萩の茶屋」から大きなカーブの先「石瀬戸バス停」の所の駐車場に小さなお地蔵さんが立っています。昭和16年のバス転落事故をはじめ、自動車の普及とともに町内の交通事故の件数も増えたことから、交通安全・事故撲滅を祈念して建立されたものです。

毎年、正月明けの凍えるような寒さの中、「石瀬戸交通安全地蔵」の前で、交通安全祈願祭（主催：小林地区交通安全協会野尻支部）が行われています。

野尻町史を紐解くと、「野尻町の交通事故として、大きなものは昭和16年11月7日の石瀬戸の省営バス（現JRバス）転落事故である。」と死者4人を出した大惨事を当時の日向日日新聞記事で紹介しています。

石瀬戸交通安全地蔵は、昭和58年秋の交通安全運動初日の9月21日に、小林交通安全協会により交通安全祈願祭の中で建立されました。

平成17年4月には、「交通安全憩いの木」（標柱）が建立されています。

○議会への提言・疑問・質問などお寄せください。

○今回の「はなみずき」で関心のあることや感想があればお書きください。また、もっと読みたいくなるような「アイデア」があればお寄せください。

安心な暮らしを早急に

物価高騰対策

問 食料品等を中心に価格が上昇し続け、米の価格まで高騰した状態。普通米が5キロで4000円程と、昨年のほぼ2倍の価格。年金生活の高齢者の方々ははじめ、市民の暮らしは厳しくなっているが、どのような対策を講じているのか。

答 米の価格はこれまでが安すぎた。米農家は採算がとれていない。国にしっかりと対策していただきたい。物価高騰対策としては、住民税非課税世帯に対する給付金のほか、市独自の支援策として、医療福祉施設に対する支援金や各種農家に対する給付金の支給を実施または予定している。また、令和7年度当初予算に



北霧島政新会
たかのよしふみ
高野 良文 議員



コ
詳
チ
ラ
ク
は



子ども達の命を守る給食センター

おいても、市独自の支援策としてプレミアム付商品券の発行や学校給食費補助に要する経費を計上している。

不登校といじめの現状対策

問 令和5年度の不登校の児童・生徒数及びいじめが原因の場合の学校の対策は。

答 不登校は小学校で22名、中学校で40名の合計62名、いじめの認知件数は小学校で67件、中学校で20件の合計87件だった。いじめの解消に向け、各学校に設置しているいじめ不登校対策委員会において、組織的な対応と発達の段階に応じた指導を行っている。

ごみ分別の周知と学習



新生会
のせまこと
能勢 誠 議員



コ
詳
チ
ラ
ク
は

問 ごみ分別緩和ステッカーの導入について、調査結果と今後の方針は。

答 令和6年9月議会で「研究を行うが、可能性は未定」と答弁した。しかし担当課内で、ごみ分別の周知・学習が重要との意見があり、「ごみ分別学級事業（仮称）」の研究を進めている。

多層指導モデルツール導入

問 多層指導モデルツール（MIM）は学習のつまずきを早期発見し、支援につなげる有効な教材。本市での導入の可能性は。

答 市内学校で活用している教員がいることも認識しているが、学習障害などのある児童・生徒の指導に、特定の支援を当てはめることは非常に



読み書き支援教材の導入を

難しい。個々の実態に応じた支援を創意工夫することが必要である。

問 早期発見のため4・5歳児を対象に音韻認識テストを導入する考えは。

答 5歳児の健康相談等は、学齢期に向け必要な、社会的な発達状況などを総合的に把握・支援することを目的に実施しており、導入の予定はない。

問 特別教育支援アセスメントシートがあるとのことだが、MIMは必要なのか。

答 実態に応じて活用していくことが大切と考えている。

鎌田豊数

議員の

イチオシ!!



「7歳の目」で 世界を見つめ直す

『宮崎こばやし熱中小学校』は、今年で開校8年目、真っ白な純粋な心で学ぶ大人の小学校です。

毎月第3土曜日、経営者や大学教授、芸術家など多彩な講師の授業が開かれ、夜は須木焼酎を片手に語らう「焼酎一貫校」を開校しています。200名を超える講師陣との出会い、全国の熱中小学校との交流も深まっています。中高生がボランティアとして参加し、東大とのイベント企画立案をするなど人材育成の場、全国から訪れた人々は小林の食と人の優しさに感動し、その魅力を全国にPRしてもらう関係人口増の場ともなっています。

皆さんも人を育てる、人が育つ、この『宮崎こばやし熱中小学校』に入学して、楽しみながら新たな小林の魅力を発見しませんか。

原田校長、大窪代表理事のインタビュー動画▶



▲写真左：原田校長、右：大窪代表理事
(宮崎こばやし熱中小学校 連絡先：48-5558)

◆次の6月定例会（予定）は

開会日…6月6日（金）
一般質問…6月9日（月）～12日（木）
議案質疑…6月16日（月）
閉会日…6月25日（水）
◎突発的な事情等により変更となる場合があります。



◎定例会の「本会議」はライブ配信しています。インターネット検索またはQRコードからアクセスしてご覧ください。

小林市議会 動画配信 検索



編集後記

目まぐるしく進められるデジタル技術の活用にやっとの思いでついてきました。モニターさんのご意見も参考に、高齢の方から若い方まで、皆さんに読んでもらえる「はなみずき」を目指して改革してきました。進化を感じていただけましたか？次号からは新メンバーに引き継ぎます。2年間どうもありがとうございました。

大迫 みどり

【広報広聴委員会】

委員長：堀 研二郎 副委員長：能勢 誠
委員：小川 真 松嶺 勇一 永野 雅己
金松 勲 鎌田 豊数 大迫 みどり

料金受取人払



差出有効期間
令和7年7月24日まで
(切手を貼らずにお出しください)

郵便はがき

886-8790

(受取人)

小林市細野300番地
小林市役所 議会事務局
広報広聴委員会 行

(はなみずきNo.72 2025.3月議会号)



ふりがな
ご氏名(イニシャルまたはペンネームでも可)

000-0000

ご住所

お電話 ()-()-()